

広島信用金庫が取り組む 日本プラントメンテナンス協会 と連携した中小製造業の支援



広島信用金庫の呼びかけでスタートした県内4金庫合同開催による「現場力向上支援事業」。日本プラントメンテナンス協会との連携による研修プログラムの展開で、地元の中小ものづくり企業の事業価値向上、競争力強化を目指す。本稿では、同支援事業の具体的な取組みをレポートする。

環境は厳しい。かつて日本の製造業は世界を席巻していた。もちろん、それを下支えしていたのは、高い技術力や創造性、独自のノウハウを持つ中小企業だ。「ものづくり」という日本のお家芸の復活には、中小ものづくり企業の競争力強化が欠かせない。

こうした中、広島信用金庫をはじめ呉信用金庫、しまなみ信用金庫、広島みどり信用金庫の広島県

内4信用金庫では、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会と業務提携を行い、TPM（全員参加型生産保全活動）を活用した中小製造業の現場力向上支援事業に乗り出した。

重複小集団活動により 現場のロスゼロを達成する

「広島県は製造業を基幹産業としており、マツダといった産業の裾野が広い大手自動車メーカーの本社工場もあることから、部品サプライヤーなど中小ものづくり企業が集積しています。私どものお取引先も中小ものづくり企業のウエイトが高いので、製造業の活性化は大きなテーマ。従来から技術展示会やセミナーを実施したり、専門機関や行政機関とのネットワークを構築したりしてご支援してき

4金庫合同でTPMによる 現場力向上支援事業を展開 3段階の研修を実施し取引先の事業価値向上を目指す

ました。そんな中で、日本プラントメンテナンス協会が提唱するTPMに出会い、低コスト・全員参加型などその活動の趣旨が中小ものづくり企業の現場にマッチすると考え、今回の支援事業をスタートしました」（大道隆昌・広島信用金庫お客様サポート部・副部長兼ビジネスサポート室長）

支援事業のパートナーとなった日本プラントメンテナンス協会は、生産活動において直面する安全、省資源、環境、効率性等の諸課題の解決を支援することを目的に設立された公益社団法人。

同協会が提唱するTPM（Total Productive Maintenance）は、

- ① 生産システム効率化の極限追求をする企業体質づくりを目指す
 - ② 生産システムのライフサイクルの全体像を対象に「故障ゼロ」「品質不良ゼロ」「災害ゼロ」などあらゆるロスを未然防止する仕組みを現場で構築して
 - ③ 生産部門をはじめ開発、営業、管理などあらゆる部門にわたって
 - ④ トップから第一線従業員に至るまで全員が参加して
 - ⑤ 重複小集団活動でロスゼロを達成すること
- と定義される。
- 端的に言えば、トップから第一線の従業員までが全員参加して、生産活動に関わるメンテナンスを

行い、故障、品質不良、災害の三つをゼロにする活動。ここでポイントとなるのが「重複小集団活動」だ。これは、経営のトップから中間管理層、第一線の従業員層までのグループが互いに重なり合っただけでなく、トップが掲げる目標や課題を明確に現場まで伝え、また現場の意見をトップの意思決定に反映させることを目的としている。

各現場で使用中の設備の維持・改善を行うことにより、「少ない費用で、優れた効果」を出すことがTPMの狙いの一つである。

県内4金庫でタッグを組み中小ものづくり企業を支援

そもそもTPMを活用した中小製造業の現場力向上支援事業に取り組むきっかけとなったのは、広島信用金庫のお客様サポート部の担当者が日本プラントメンテナンス協会が広島県で開催した「改善事例発表会」に参加したこと。ここでTPMという活動を知り、中小製造業の事業価値向上、競争力強化に資する取組みになると考え



▶ 大道隆昌・お客様サポート部・副部長兼ビジネスサポート室長



▶ 滝口 護・お客様サポート部・ビジネスサポート室・副課長

たことがすべての始まりだ。「現場改善により『現場力』を向上させていくことは、生産効率や品質の向上、従業員のモチベーションアップなど様々な波及効果も期待でき、全体的な企業体質の改善が見込まれます。ひいては技術革新や新商品開発にも貢献し、競争力の強化につながるでしょう。私どもとしては、将来的な受注増加と収益アップを見据えた支援策という位置付けで、この支援事業を推進しています」（滝口護・お客様サポート部・ビジネスサポート室・副課長）

日本プラントメンテナンス協会との連携で手始めに行われたのは「TPM現場力向上セミナー」。

平成24年10月のことだ。ここではTPMの基本的な考え方や取組みのポイントが紹介された。

実はこのセミナー、当初は継続的な支援事業として展開することは想定していなかった。単発の企画として開催されたのである。

しかし、いざ蓋を開けてみるとセミナーは大盛況。参加企業は57社、参加人数は82名に上った。参